

市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーについて

1 これまでの経緯

- 「手話言語・障害者コミュニケーション条例」に基づくコミュニケーション支援の普及啓発の一環として、近年は、コミュニケーション支援アプリの運用、改修を継続してきた。
- 従前から、専門部会において「コミュニケーション支援アプリでは視覚障害者等へのコミュニケーション支援は難しい」旨の御意見をいただいていることから、避難所や日常生活においてコミュニケーション支援アプリが活用できない困りごとについて御意見を伺った。
- 災害時の支援としては、避難所等における具体的な対応が必要という意見が多かったことから、2024年度中に、市町村の福祉部局及び防災部局の職員を対象として「市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナー」を開催することとした。

2 市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナー開催内容（案）

(1) 対象者

県内市町村の福祉部局及び防災部局の職員

(2) 内容

- ・ 障害者支援施設・団体等による講演、県による行政説明
- ・ 先進的な取組を行う市町村や団体等による事例紹介
- ・ 市町村職員同士のグループワーク

※具体的な日時・場所、詳細な内容等は、来年度、委託事業者が決定した後に調整

3 第2回専門部会においていただいた御意見

セミナーの内容を検討するにあたり、第2回専門部会でいただいた御意見等を反映する。

- ・ 市町村内における福祉部局と防災部局の情報共有、コミュニケーションを深めてほしい。
- ・ 災害時の初動は地域の住民、自主組織の対応が重要になることから、各市町村においては、地域に向けてセミナーの内容の情報共有が図られるようにしてほしい。
- ・ 避難所における自閉症児への対応、配慮について盛り込んでほしい。
- ・ 視覚障害者には文字情報が伝わらず、避難所における掲示や印刷物の配布等では情報が行き届かない。こういった場合でも、支援やサポートが置き去りにされないようにしてほしい。
- ・ 盲ろう者は情報がなかなか入らず、周りの人から情報をもらう必要がある。手のひら書きなど誰でもできる支援方法もあることを伝えてほしい。
- ・ 1つの障害種別について取り上げて、その障害への対応を学ぶことで終わるのではなく、様々な障害があり、それぞれに対応する必要があることを伝えてほしい。